

特定小電力タイプ1mW送受信機

【AN426T】

【RC-426SW-A】

V1.6

取扱説明書

ヘルツ電子株式会社

〒433-8103 静岡県浜松市豊岡町6-2-1

TEL053-438-3555 FAX053-438-3411

この度は、弊社の特定小電力タイプ1mW送受信機 【AN426T】
【RC-426SW-A】をご導入いただき誠にありがとうございました。
本機をお役に立てていただくために、本説明書を充分にお読み下さいますよう
お願い申し上げます。

また、増設ユニット【HSW-01】をご使用の場合は、別途【HSW-01】
取扱説明書を併せてご覧ください。

安全で快適にお使いいただくために

(必ずお読みください)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を説明しています。

絵表示の意味をよく理解した上でお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体が傷害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。



この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



注意

全てに共通の取り扱いについて

湿気・ほこりの多い場所での使用は避けてください。ほこりや水分が入り、故障・火災・感電の原因となることがあります。



本機の取り扱いについて

本機は、精密部品で作られた電子機器及び無線通信機器です。
分解・改造はしないで下さい。事故や故障の原因となります。



警告

本機の取り扱いについて

人命にかかわるような極めて高い信頼性を要求される用途には、ご使用にならないで下さい。













電波が届くか届かない曖昧な範囲ではご使用にならないで下さい。



警告



電源の取り扱いについて

ACアダプタ・電源コードの発熱、損傷、破損、発火などの防止のため、次のことは必ずお守りください。

ACアダプタ・電源コードを火に近づけたり、火の中に入れてください。 ACアダプタ・電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	
ACアダプタ・本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では使用しないでください。	
濡れやすい場所で、ACアダプタ・本体を使用しないでください。 発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	
濡れた手でACアダプタ・本体・電源コード・コンセントに触れないでください。 感電などの事故の原因となります。	
電源コードを破損させないでください。 ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	
電源プラグにほこりが付着したままで使用しないでください。 ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	
ACアダプタに強い衝撃を与えないでください。 事故や故障の原因になることがあります。	
ACアダプタの変形などに気づいたら、使用しないでください。 事故や故障の原因になることがあります。	
引火性ガスが発生する場所では、本体を充電しないでください。 発火事故などの原因になります。	
絶対にACアダプタを分解しないでください。 事故や故障の原因になることがあります。	

使用中に異常が発生したときは

火災・感電などの原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社宛修理を依頼して下さい。

煙が出たり、変な臭いがするときは使用を中止し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社宛修理を依頼してください。	
電源コードが傷んだら使用しないでください。 そのまま使用すると火災や感電の原因になります。	

目 次

1 . 概 論	1
1 - 1 適 用	1
1 - 2 概 要	1
1 - 3 構 成	1
1 - 4 特 長	2
1 - 5 システム構成図	2
2 . 仕 様	3
2 - 1 無線部	3
2 - 2 一般	4
3 . 各部の名称	5
3 - 1 AN426T	5
3 - 2 RC-426SW	6
4 . 入力【AN426T】	7
5 . 出力【RC426SW-A】	8
6 . 動作タイミング	9
7 . 寸法図	10
7 - 1 AN426T	10
7 - 2 RC-426SW-A	11
8 . 通信周波数の設定	12
9 . 設置方法	13
10 . 機器番号・ユニット番号・セット番号の設定変更について	14
11 . 乾電池のご使用について	15
12 . 使用方法	17
13 . 動作説明	18
14 . 注意事項	23

概論

1 - 1 . 適 用

本説明書は、特定小電力タイプ 1 mW送受信機 【AN426T】（送信機）
【RC-426SW-A】（受信機）に適用します。

1 - 2 . 概 要

本機は、複数の場所に設置された送信機のON・OFF信号を1台の受信機で受信し、モニターLEDで表示するとともに端子台よりオープンコレクタ出力するシステムです。

異常信号の収集、ワイヤレス呼び出しシステム等に利用できます。

受信機を1台使用することにより8台の送信機の2点の信号の収集、又は16台の送信機の1点の信号の収集ができます。

又、オプションの増設用ユニット〔HSW-01〕を2台まで、接続することができ、MAX48台の送信機のON・OFF信号を受信することができます。

電波による伝送方式のためケーブルが不要となり広範囲の信号の収集が容易にできます。

特定小電力無線局を使用しているため、ノイズに強く遠距離通信ができます。

（見通し距離：約100～300m）

データを1ヶ所で集中して把握することができ、生産の合理化に大きな効果をもたらします。

1 - 3 . 構 成

送信機は、CALL、STOP、CLRの押しボタンスイッチ及び、3点の外部入力端子を持ち、単三乾電池2本、又は、ACアダプタで動作できます。

受信機は16点の出力用端子、内部処理及び通信処理を行う8ビットCPUユニット、特定小電力無線ユニット（テレメータ・テレコントロールタイプ）を1つのケースに納めたコンパクトな構成となっています。

概論

1 - 4 . 特 長

通信チャンネルを 1 c h ~ 1 0 c h まで設定できます。

送信機と受信機ともに個別に変更可能です。

機器識別用のユニット番号 (1 ~ 8) 及びセット番号 (1 ~ 8) の設定が可能です。

最大 8 台の送信機の 2 点の信号を受信機 1 台で受信できます。

(1 点の場合は 1 6 台)

オプションの増設用ユニット [H S W - 0 1] を接続することにより、最大 2 4 台の送信機の信号を受信できます。(1 点の場合は 4 8 台)

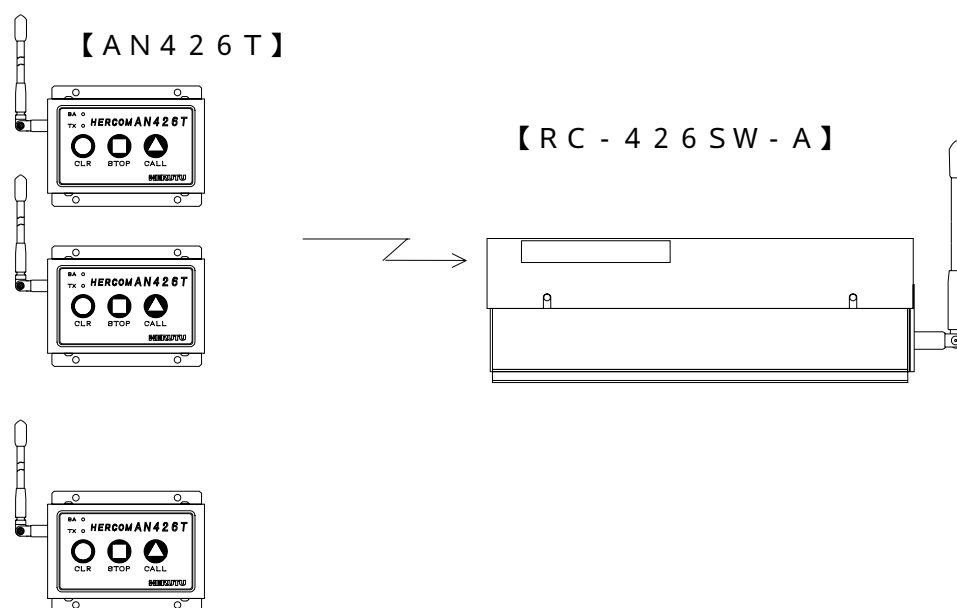
送信機は、乾電池での使用も可能なため、携帯して使用できます。

また、送信機には電圧検出機能があり乾電池の消耗も一目で確認でき、安心してご使用いただけます。

スイッチデータの状態は表示灯が付いているためモニタできます。

本機の無線ユニット部には、チャンネルセット用ロータリースイッチが付いているため、混信時には切り換えることができます。(1 0 チャンネル)

1 - 5 . システム構成図



仕様

2 - 1 . 無線部 (共通)

項目	仕様
装置種別	R C R - S T D 1 6 A に準拠する特定小電力無線局 (特定小電力無線局テレメータ用及びテレコントロール用無線設備)
使用周波数	4 2 6 . 0 2 5 0 M H z ~ 4 2 6 . 1 3 7 5 M H z (1 2 . 5 k H z ステップ 1 0 波 ロータリスイッチで切替)
電波形式	F 1 D
空中線電力	1 m W 以下
アンテナ	/ 4 ホイップアンテナ
変調方式	直接 2 値 F S K
変調速度	9 7 7 b p s
通信方式	単向通信方式による間欠通信 (注 1)
その他	送信時間制限 : 送信時間 3 秒以内、送信休止時間 2 秒以上 (注 2)

注 1) 「単向通信方式」とは、単一の通信の相手方に対し、送信のみを行う通信方式です。

注 2) 本機は、電波を発射してから送信時間内にその電波の発射を停止し、かつ、送信休止時間を経過した後でなければその後の送信を行いません。

(この機能は、本機が「特定小電力無線局テレメータ用及びテレコントロール用無線設備」として技術基準適合証明を受けるために必要なものです。)

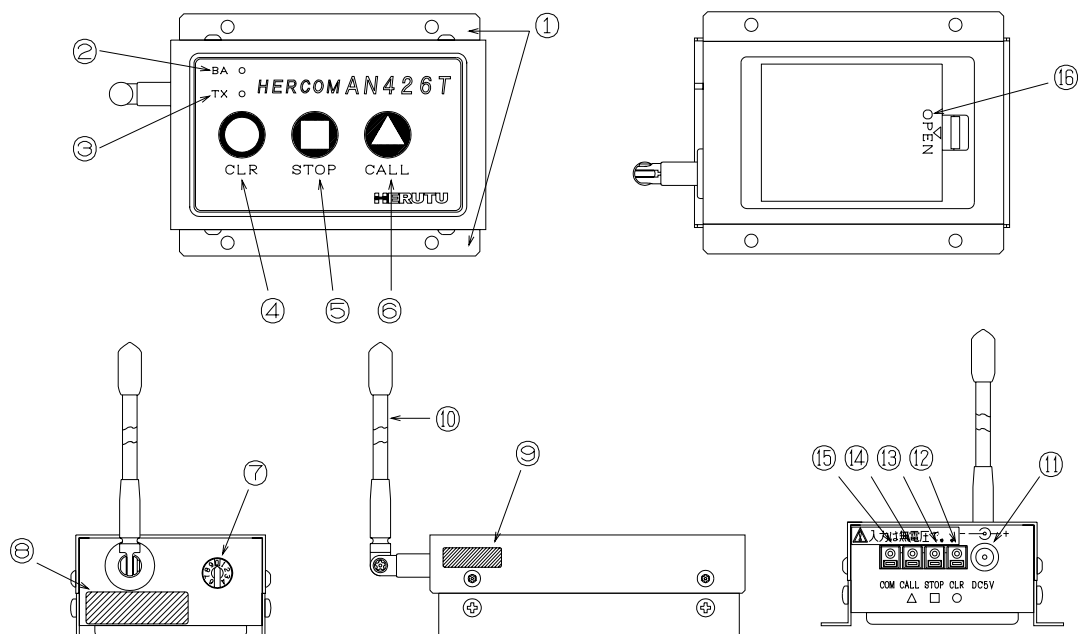
仕様

2 - 2 . 一般

項目	AN426T	RC-426SW
入力キー	CALLキー () × 1 STOPキー () × 1 CLRキー () × 1	
入出力端子	CALL端子 () × 1 STOP端子 () × 1 CLR端子 () × 1	オープンコレクタ出力×16 最大耐圧DC35V 最大定格電流50mA
表示素子	赤色LED(BA) × 1 (電源警告用) 緑色LED(TX) × 1 (送信時点灯)	PW(赤色LED) × 1 CD(緑色LED) × 1 赤色LED × 16 (モニター用)
電源	付属ACアダプタ(DC5V) または、 単三型乾電池 × 2	AC100V
消費電力	送信時: 250mW以下 送信2秒休止時: 100mW以下	約10W
外形寸法	約108W×65H×35.5D (突起物を除く)	約195W×102D×61D
重量	約250g(乾電池を除く)	約1.2Kg
使用環境	温度: 0~+50 湿度: 65%±20% (但し、結露なきこと)	温度: 0~+50 湿度: 65%±20% (但し、結露なきこと)
付属品	ACアダプタ × 1 (DC5V)	

各部の名称 【AN426T】

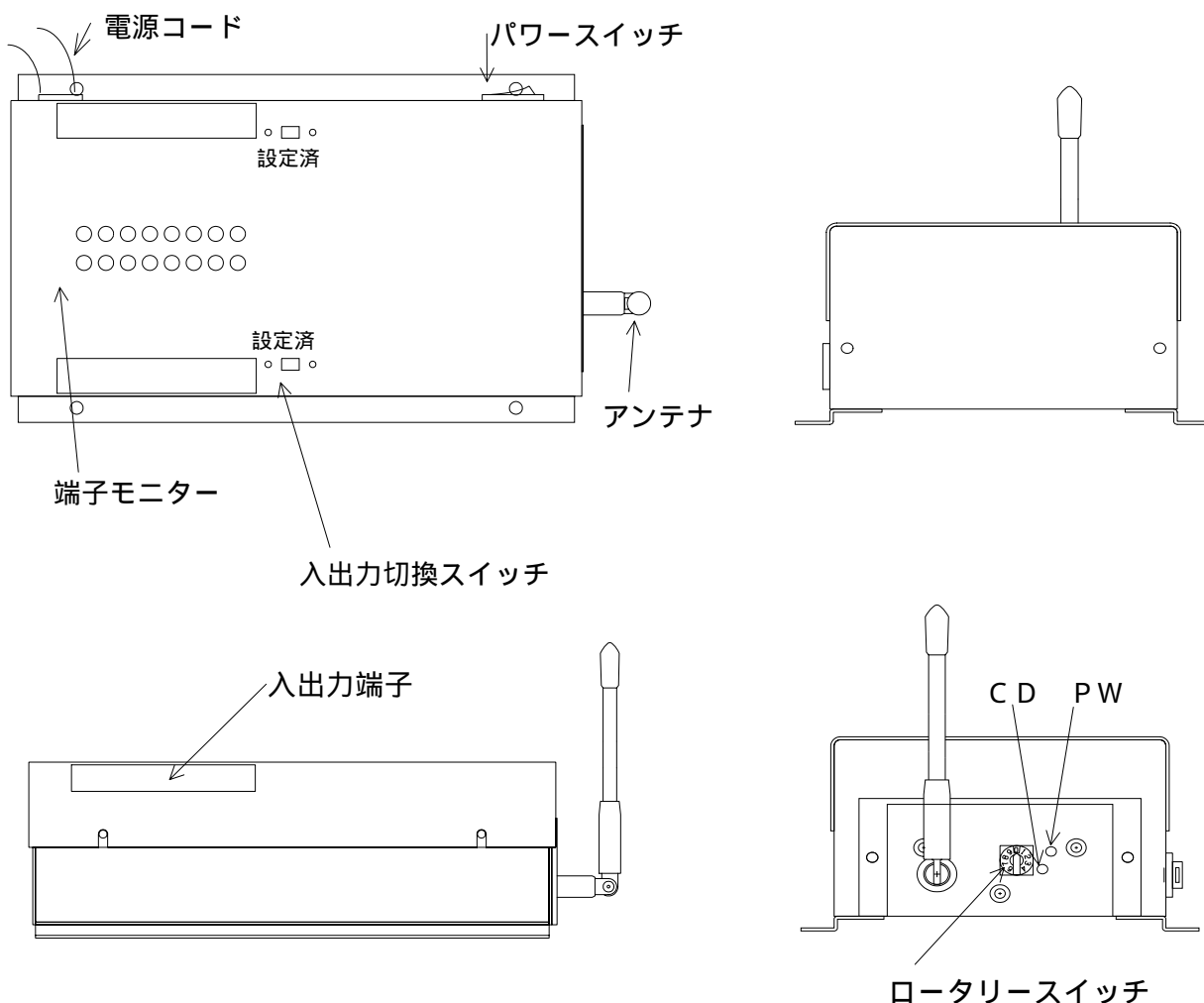
3 - 1 . AN426T



番号	名称	機能
	取り付け金具	本機をパネル等に固定する場合にご利用ください。
	BAランプ	赤色の電源警告用ランプです。 キー入力あるいは端子台からの入力がある間点灯し続ける場合には、電源電圧が低下しています。 乾電池でご使用の場合は、早めに新しい乾電池に交換してください。
	TXランプ	緑色の送信ランプです。送信しているときに点灯します。
	CLRキー	キー入力でCLRコードを送信します。
	STOPキー	キー入力でSTOPコードを送信します。
	CALLキー	キー入力でCALLコードを送信します。
	ロータリスイッチ	通信チャンネルを設定します。(計10波から1波設定)
	認証ラベル	型式、製造番号、認証番号が記載されている認証ラベルです。
	機器識別ラベル	本機のユニット番号及び機器番号を示すラベルです。 (セット番号、ユニット番号、機器番号の順で記載されています。)
	アンテナ	アンテナです。
	DC INジャック	付属のACアダプタを接続します。
	CLR端子	端子入力でCLRコードを送信します。
	STOP端子	端子入力でSTOPコードを送信します。
	CALL端子	端子入力でCALLコードを送信します。
	COM端子	CLR、STOP、CALLの各端子の接地端子です。
	乾電池ケース蓋	単三型乾電池ケースの蓋です。

各部の名称 【RC - 426SW - A】

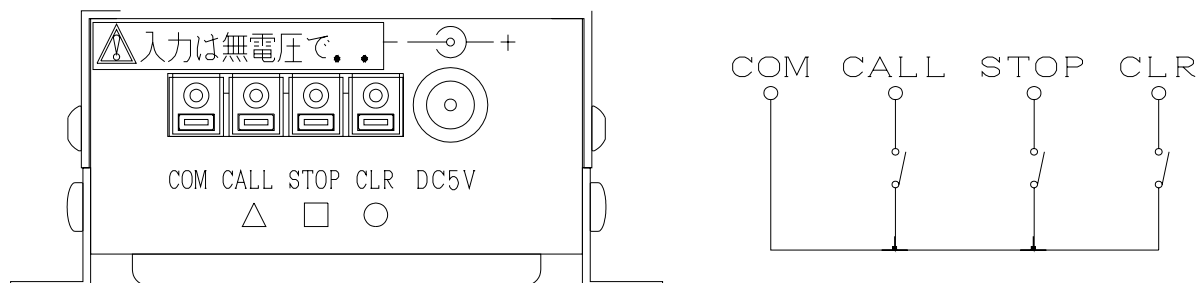
3 - 2 . RC - 426SW



電源コード	: AC100V
パワースイッチ	: 電源投入用スイッチ
入出力端子	: 本装置では出力用端子
入出力切換モニター	: 切換スイッチのモニター
入出力切換スイッチ	: 本装置の場合はOUTに設定
ロータリースイッチ	: チャンネルを設定するスイッチ
端子モニター	: 端子状態のモニターLED

PW	: 電源モニターLED
CD	: 受信中モニターLED

4. 入力端子台



本機の外部入力端子（CLR端子、STOP端子、CALL端子）へは、リレー、マイクロスイッチ、リミットスイッチなどの無電圧接点を接続します。それぞれの入力端子への入力により、キー入力と同様にCLRコード、STOPコード、CALLコードを送信します。

- ・ 本端子に接続する無電圧接点について

無電圧接点にはチャタリングが少ないもので

付属ACアダプタ使用時： 5V / 3mAの電圧、電流を安定してON/OFF可能なもの

乾電池使用時： 3V / 2.5mAの電圧、電流を安定してON/OFF可能なものをご使用ください。
- ・ 入力検出について

キー入力及び端子入力の全ての入力状態が、チャタリングチェック時間（約50msec）の間変化がない時の入力状態を入力値とします。

電源入力部

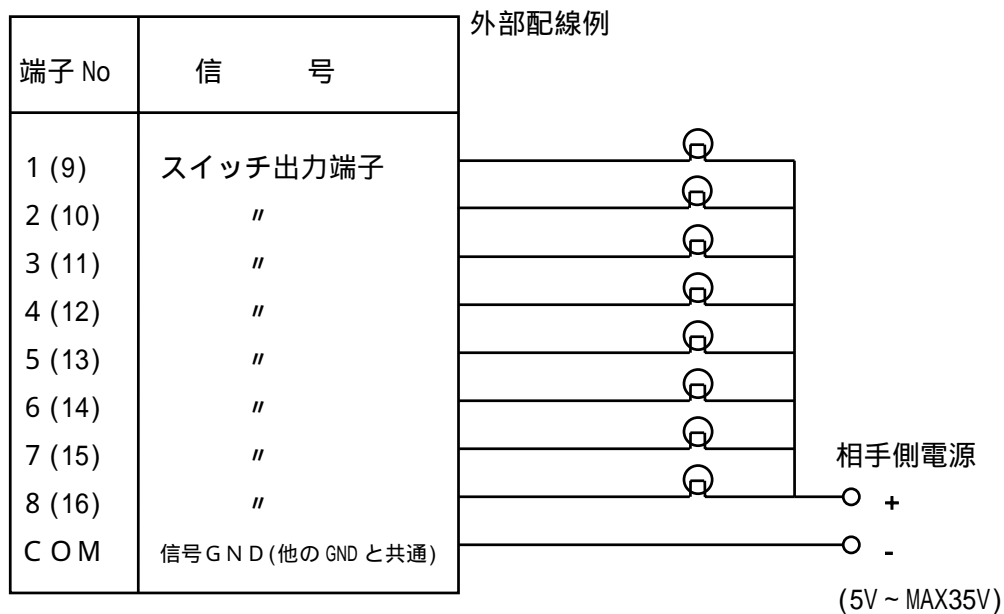
ACアダプタ接続用のDC INジャックの極性は、センターマイナスとなっています。付属のACアダプタ以外のアダプタをご使用になる場合は、極性にご注意ください。また、出力電圧がDC 5Vで、出力電流が400mA以上のものをご使用ください。

ロータリスイッチ

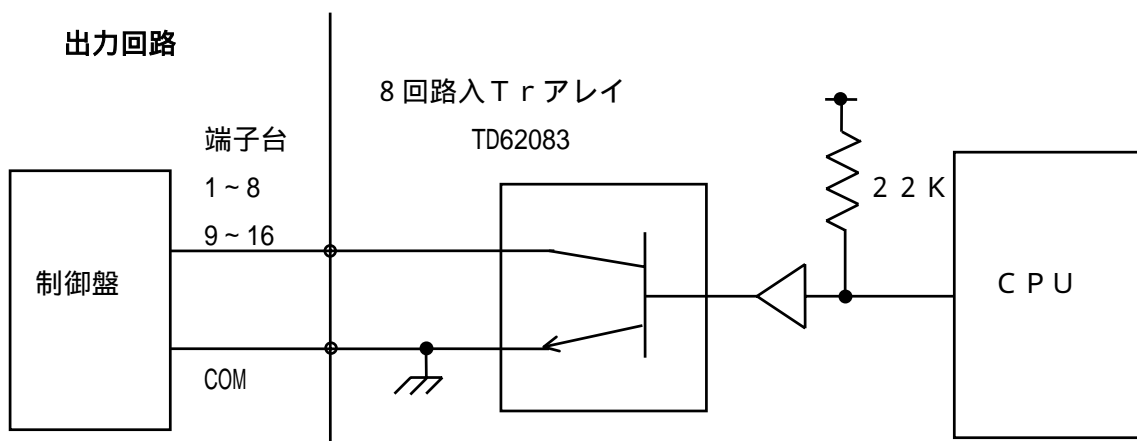
ロータリスイッチで、通信チャンネルを設定します。チャンネルは、1ch～10chまであります。

出力 【RC - 426SW - A】

5. 出力端子台



注) ランプ等を直接駆動した場合は、ON用のラッシュカレントとして通常の約10倍の電流が流れますので注意が必要です。(場合によっては本機内蔵のドライブ回路が破損する恐れがあります)
 端子1ヶ当たりの電流はMAX50mAですのでドライブ回路を設けないとランプの種類によっては点灯しない場合もあります。



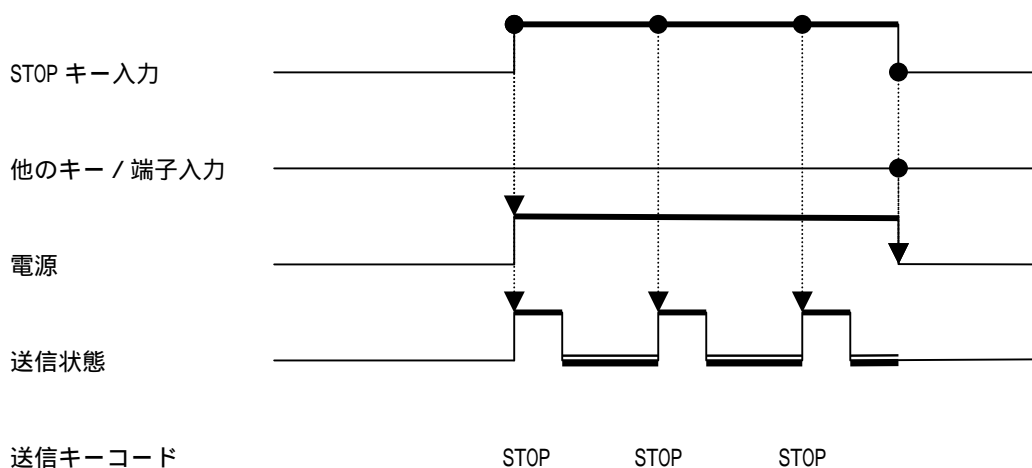
動作タイミング

6. 動作タイミング

タイミングチャート

入力、電源、送信状態、及びコード送信のタイミングチャート例を示します。

例1) 単一キー入力の場合



キー及び端子入力の検出

チャタリングチェック時間 (5 0 m s e c) の間全ての入力状態に変化が無ければこの時の入力状態を入力値とします。

特殊送信での送信

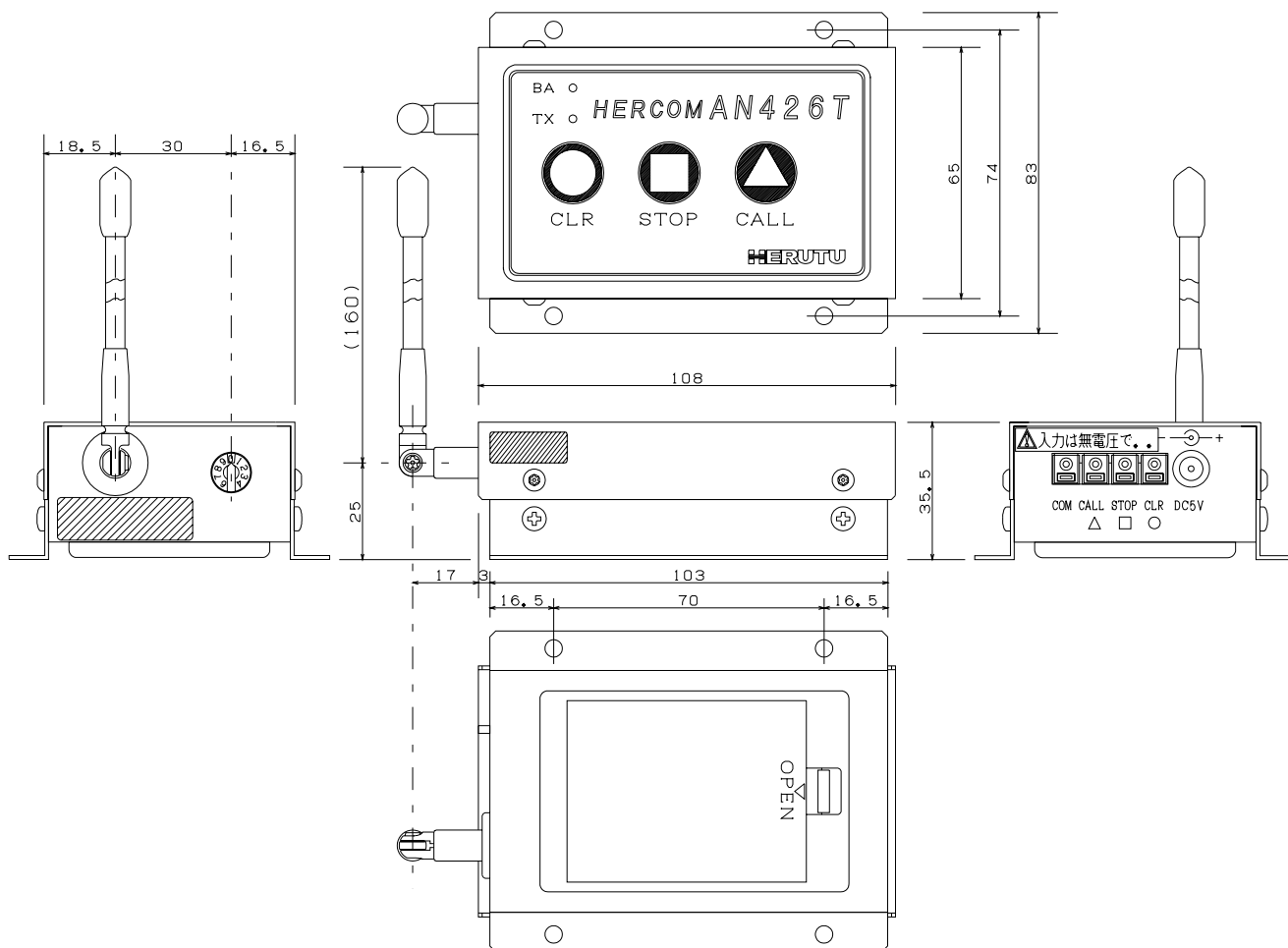
特殊送信に設定してある場合は、キー入力時と端子入力時の送信方法が異なります。(キー入力時の送信方法は、通常送信となります。)

端子入力があった場合は、端子コードを送信 (約 1 秒) し、送信休止 (2 秒) をします。その後の端子コードの送信 (約 1 秒) と送信休止 (2 秒) の動作は、端子入力に変化があった場合にだけ行われます。

端子入力が全て無くなった時には、C L R コードを送信 (約 1 秒) し電源をOFFします。送信されるコードは、電源 ON 時または、送信休止明け時の入力状態を用います。

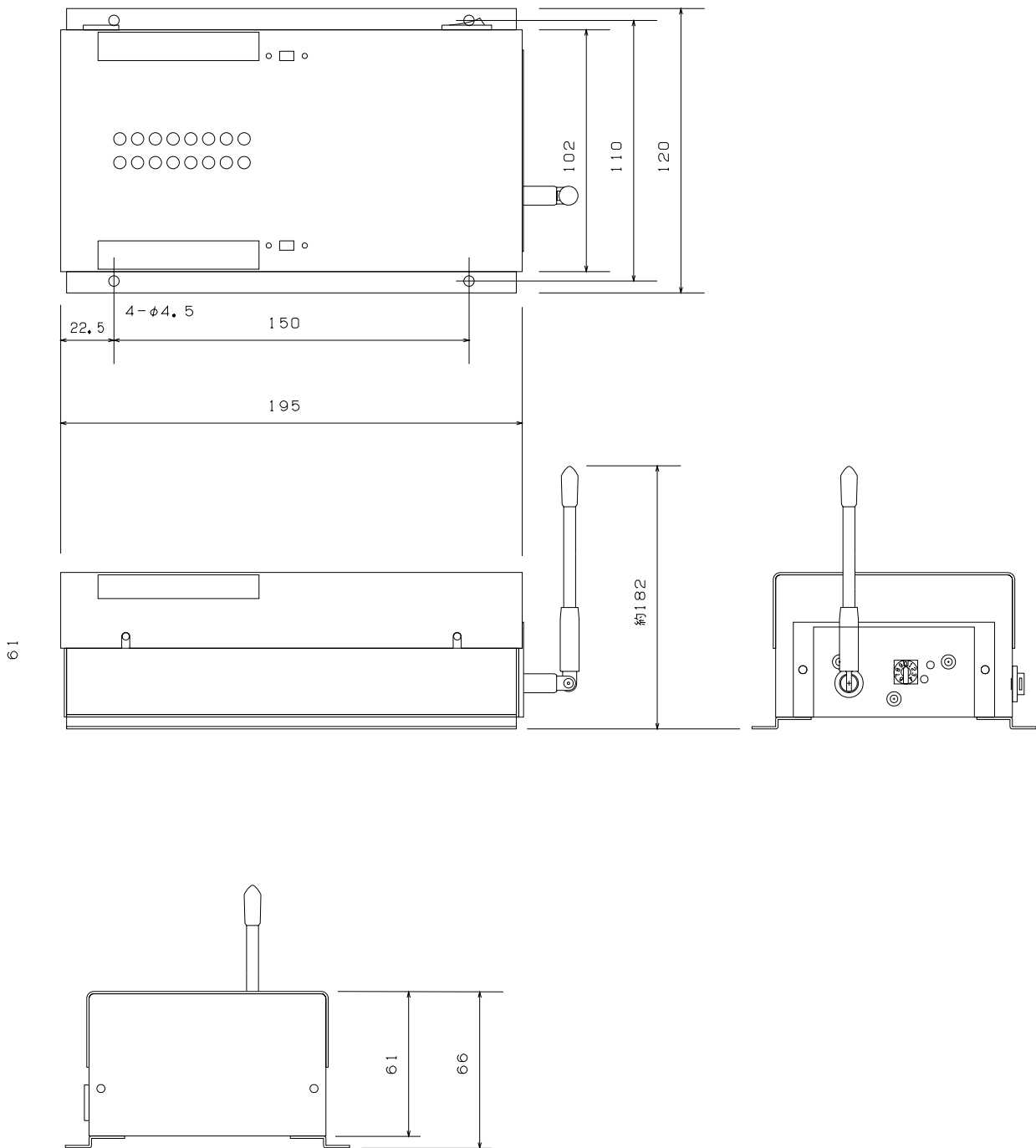
寸法図 【AN426T】

7 - 1 . AN426T



寸法図 【RC - 4 2 6 SW - A】

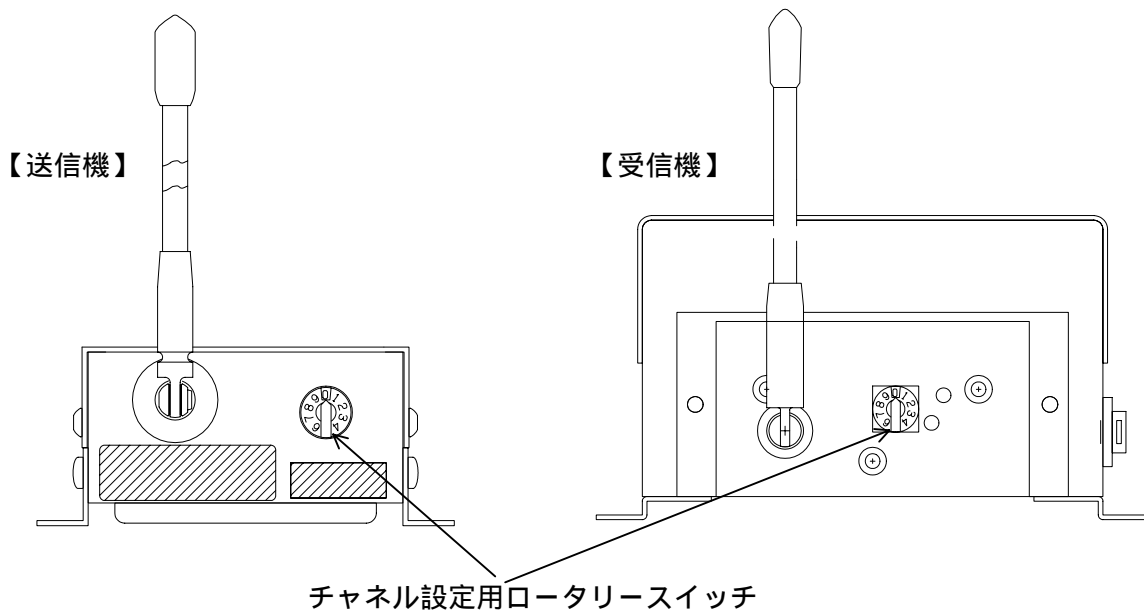
7 - 2.RC - 4 2 6 SW



通信周波数の設定

8 . 通信周波数の設定

設定したいチャンネル番号をロータリースイッチによりセットして電源を入れると、そのスイッチが示す数値のチャンネルに設定されます。



通信チャンネル

通信チャンネルは、1ch～10chまであり、ロータリースイッチで設定します。

(10chを設定するには、ロータリースイッチを 0 にします。)

チャンネル番号と通信周波数の関係は、次表の通りです。

チャンネル番号	周波数 (MHz)
1	426.0250
2	426.0375
3	426.0500
4	426.0625
5	426.0750
6	426.0875
7	426.1000
8	426.1125
9	426.1250
10	426.1375

設置方法

9 . 設置方法

次の事に注意して設置してください。

アンテナはできるだけ垂直に立て、金属板や電線と平行にならないようにしてください。

アンテナは、できるだけ金属板や電線から遠ざけてください。

ノイズ発生源からできるだけ離してください。

本機のアンテナと受信装置側のアンテナ間に、なるべく遮蔽物がない場所を選んで設置してください。

通信性能は、設置環境に大きく依存します。

通信が可能であるかを確認の上、設置してください。

パネル等に固定して使用する場合は、取り付け金具を利用してください。

本機は、防塵 / 防滴構造ではありません。

設置環境に応じて防塵 / 防滴処理をしてください。

< 設置時の注意 >

以下のような場所に設置しないでください。

直射日光が当たる所。

湿度が非常に高い所。

テレビやラジオの近く

モーターなど火花を飛ばすものの近く。

強い磁界を発生している所。

鉄骨や金属壁で囲まれた狭い所。

本機からの電波により、誤動作をする可能性のある装置の近く。

機器番号・ユニット番号・セット番号の設定変更について

10 - 1 . キーボタンの割り振りと設定範囲 (ロータリースイッチで設定)

設定内容を次に示します。

設定項目	対応キー	設定範囲
ユニット番号	C A L L	1 ~ 8
機器番号	S T O P	1 ~ 8
セット番号	内部 SW	1 ~ 8

P 1 8、P 1 9 もあわせて参照して下さい

10 - 2 . 設定モードに入るには (C L R + S T O P + C A L L)

C L R + S T O P + C A L L キーを押します。(3キー同時押下)

そのまま2秒以上押し続けます。

T X ランプが約0.3秒間隔で点滅し設定モードに入ったことを知らせます。

10 - 3 . 設定モードを抜けるには (C L R)

C L R キーを押します。

T X ランプが点灯します。

C L R キーを離します。

電源が切れ設定モードから抜けます。

10 - 4 . ユニット番号の設定 (C A L L)

C A L L キーでユニット番号 1 ~ 8 を設定します。

C L R + S T O P + C A L L キーで設定モードに入ります。(T X ランプ点滅)

ロータリースイッチで希望のユニット番号を設定します。(注1)

C A L L キーを押します。(T X ランプ点灯)

暫くすると、T X ランプが点滅し設定が終了したことを知らせます。

T X ランプの点滅を確認後キーボタンを離して下さい。(注2)

C L R キーで設定モードを抜けます。(T X ランプ点灯)

* ユニット番号・機器番号・セット番号の設定は通常は変更の必要がありません。

機器番号・ユニット番号・セット番号の設定変更について

10 - 5 . 機器番号 (STOP)

STOPキーで機器番号 1 ~ 8 を設定します。

CLR+STOP+CALLキーで設定モードに入ります。(TXランプ点滅)

ロータリースイッチで希望の機器番号を設定します。(注1)

STOPキーを押します。(TXランプ点灯)

暫くすると、TXランプが点滅し設定が終了したことを知らせます。

TXランプの点滅を確認後キーボタンを離して下さい。(注2)

CLRキーで設定モードを抜けます。(TXランプ点灯)

10 - 6 . セット番号

セット番号は内部設定スイッチによって設定変更ができるようになる為、出荷時固定となります。

注1) ロータリースイッチの 0、9 は、1 とみなします。

注2) 必ずTXランプの点滅を確認して下さい。

注3) キーボタンを2以上同時に押さないで下さい。

タイミングによっては、僅かに最初に押されたキーボタンが認識され誤って設定が行われる場合があります。

乾電池のご使用について 【AN426T】

本機は、乾電池でのご使用が可能です。

使用される際には、下記の事項をよくお読みいただき正しくお使いください。

11 - 1 . 乾電池の交換

使用される乾電池にはアルカリ乾電池をお勧めします。

次の手順で交換してください。

本体下面にあるプラスチック製の乾電池ケースの蓋を外します。

内部の電池ケースに単三型乾電池を取り付けます。

この時、電池の極性を間違えないようにしてください。

電池ケースの蓋を取り付けます。

11 - 2 . 乾電池使用上の注意

長時間使用されない場合や、保管する場合は乾電池を取り外しておいてください。

ACアダプタで使用される場合は、安全のため乾電池を取り外してご使用ください。

キー入力あるいは端子入力時に、本機のBAランプ（電源警告ランプ）が点灯し続ける場合は乾電池が消耗していますので、新しい乾電池と交換してください。

交換する乾電池は、必ず2本とも新しい同じ種類の電池にしてください。

古い乾電池や、種類の違う乾電池を混用すると乾電池の寿命が短くなるばかりでなく、故障の原因になる恐れがあります。

使用方法

1.2 使用方法

本システムには、次の3種類の動作タイプがあります。

CALL - STOP タイプ

送信機の CALL 又は、STOP キー押下により R C - 4 2 6 S W - A の対応する端子出力を ON、CLR キー押下により対応する端子出力を OFF します。

また、送信機の CALL、STOP、CLR 端子への入力によっても同様の動作をします。

R C - 4 2 6 S W - A に拡張ユニット HSW - 0 1 を2台装着することにより最大24台の送信機に対応できます。

CALL - STOP - 1 秒間ラッチタイプ

送信機の CALL 又は、STOP キー押下により R C - 4 2 6 S W - A 対応する端子出力を約1秒間 ON します。

端子台へ出力した後約5秒間は、同じ送信機からの同一キー押下による受信を無視します。

また、CLR キー押下は、無視されます。

また、送信機の CALL、STOP 端子への入力によっても同様の動作をします。

R C - 4 2 6 S W - A に拡張ユニット HSW - 0 1 を2台装着することにより最大24台の送信機に対応できます。

CALL タイプ

送信機の CALL キー押下により R C - 4 2 6 S W - A の対応する端子出力を ON、CLR キー押下により対応する端子出力を OFF します。

また、送信機の CALL、CLR 端子への入力によっても同様の動作をします。

R C - 4 2 6 S W - A に拡張ユニット HSW - 0 1 を2台装着することにより最大48台の送信機に対応できます。

動作説明

13. 動作説明

動作タイプ

動作タイプは、RC - 426SW - A内部の8連ディップDIPSW1の7番、8番で設定します。

動作タイプ	DIPSW1	
	7番	8番
CALL - STOP タイプ	OFF	OFF
CALL - STOP - 1秒間ラッチタイプ	ON	OFF
CALL タイプ	OFF	ON

通信チャンネル

通信チャンネルは、1～10chまであり送信機、RC - 426SW - AともにロータリーSWで設定します。

RC - 426SW - A入出力方向

RC - 426SW - Aの入出力切替スイッチは必ず出力側に設定（赤色LED点灯）して下さい。

また、拡張ユニットHSW - 01の入出力切替スイッチも同様に出力側に設定下さい。

RC - 426SW - Aの受信ユニット

受信ユニットHRF - 426RのディップSWの1番をONにし、他を全てOFFに設定して下さい。

動作説明

動作説明

送信機と出力端子の対応

次表に送信機のユニット番号、機器番号と出力端子の対応を示します。

< CALL - STOP タイプ > 及び < CALL - STOP - 1 秒間ラッチタイプ >

ユニット番号	機器番号	出力端子番号	
		CALL 出力	STOP 出力
1	1	SW 本体の端子 1	SW 本体の端子 9
	2	2	10
	3	3	11
	4	4	12
	5	5	13
	6	6	14
	7	7	15
	8	8	16
2	1	1 台目拡張ユニットの端子 1	1 台目拡張ユニットの端子 9
	2	2	10
	3	3	11
	4	4	12
	5	5	13
	6	6	14
	7	7	15
	8	8	16
3	1	2 台目拡張ユニットの端子 1	2 台目拡張ユニットの端子 9
	2	2	10
	3	3	11
	4	4	12
	5	5	13
	6	6	14
	7	7	15
	8	8	16

動作説明

<CALL タイプ>

ユニット 番号	機器番号	CALL 出力端子番号	ユニット 番号	機器番 号	CALL 出力端子番号
1	1	SW 本体の端子 1	4	1	1 台目拡張ユニットの端子 9
	2	2		2	1 0
	3	3		3	1 1
	4	4		4	1 2
	5	5		5	1 3
	6	6		6	1 4
	7	7		7	1 5
	8	8		8	1 6
2	1	SW 本体の端子 9	5	1	2 台目拡張ユニットの端子 1
	2	1 0		2	2
	3	1 1		3	3
	4	1 2		4	4
	5	1 3		5	5
	6	1 4		6	6
	7	1 5		7	7
	8	1 6		8	8
3	1	1 台目拡張ユニットの端子 1	6	1	2 台目拡張ユニットの端子 9
	2	2		2	1 0
	3	3		3	1 1
	4	4		4	1 2
	5	5		5	1 3
	6	6		6	1 4
	7	7		7	1 5
	8	8		8	1 6

動作説明

動作

送信機のキー押下又は、端子への入力により送信されるコードを受信した時の R C - 4 2 6 S W - A の動作を説明します。

送信機のキー押下又は、端子への入力により送信されるコード及び送信タイミングについての詳細は、「特定小電力タイプ 1mW 送信機 HERCOM AN426T」の取扱説明書を参照して下さい。
(特に動作説明のフローチャートとタイミングチャートの項を十分にお読み下さる様をお願いします。)

< CALL - STOP タイプ >

送信機側送信コード	R C - 4 2 6 S W - A 出力動作
CALL	送信機のユニット番号と機器番号に対応した CALL 出力端子が ON します。
STOP	送信機のユニット番号と機器番号に対応した STOP 出力端子が ON します。
CLR	送信機のユニット番号と機器番号に対応した CALL 及び STOP 出力端子が OFF します。
CALL + STOP	送信機のユニット番号と機器番号に対応した CALL 及び STOP 出力端子が ON します。
その他	無効です。

注意) 送信機が特殊送信に設定されている場合の注意

押しボタンスイッチで押された、出力中の CALL (STOP) 出力端子がある場合には、同一の送信機の STOP (CALL) 入力端子への信号入力により CALL (STOP) 出力端子が OFF し STOP (CALL) 出力端子が ON します。

動作説明

< CALL - STOP - 1 秒間ラッチタイプ >

送信機側送信コード	R C - 4 2 6 S W - A 出力動作
CALL	送信機のユニット番号と機器番号に対応した CALL 出力端子を約 1 秒間 ON します。
STOP	送信機のユニット番号と機器番号に対応した STOP 出力端子を約 1 秒間 ON します。
CALL + STOP	送信機のユニット番号と機器番号に対応した CALL 及び STOP 出力端子を約 1 秒間 ON します。
その他	無効です。

< CALL タイプ >

送信機側送信コード	R C - 4 2 6 S W - A 出力動作
CALL	送信機のユニット番号と機器番号に対応した CALL 出力端子が ON します。
CLR	送信機のユニット番号と機器番号に対応した CALL 出力端子が OFF します。
その他	無効です。

4 . テスト動作

R C - 4 2 6 S W - A は、DIPSW1 の 6 番を ON にするとテスト動作をします。

テスト状態になると、約 1 秒毎に

- 端子 1、9 のみ出力 ON、他の端子は OFF
- 端子 2、10 のみ出力 ON、他の端子は OFF
- 端子 3、11 のみ出力 ON、他の端子は OFF
- 端子 4、12 のみ出力 ON、他の端子は OFF
- 端子 5、13 のみ出力 ON、他の端子は OFF
- 端子 6、14 のみ出力 ON、他の端子は OFF
- 端子 7、15 のみ出力 ON、他の端子は OFF
- 端子 8、16 のみ出力 ON、他の端子は OFF

を繰り返します。(R C - 4 2 6 S W - A 本体、1 台目の拡張ユニット及び 2 台目の拡張ユニット同時に出力)

テスト動作を終了するには、DIPSW1 の 6 番を OFF にして下さい。

R C - 4 2 6 S W - A は、通常の動作に戻ります。

注意事項

1 4 . 注意事項

制御盤等に組み込む場合

本無線送信機は、技術基準に適合した特定小電力無線局であり法律により送信機のアンテナは取り外しができません。

制御盤等に組み込む場合は、アンテナの根元が制御盤より外に出るように取付けて下さい。

* 危険を伴う作業でのご使用においては、弊社は責任を負い兼ねます。